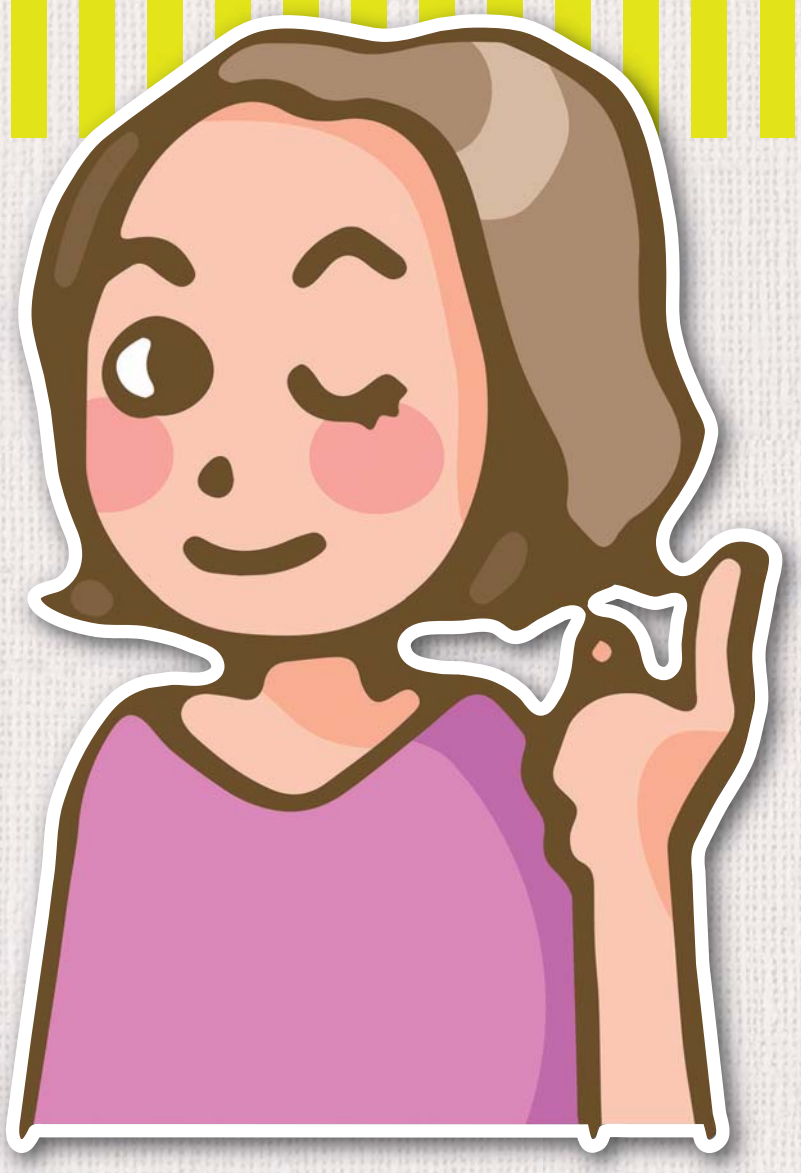
お母さんの宝物、
また一つ…



しゅんくんは小さい頃から
いろんなことに興味がある男の子。
けれど、周りのお友達とは
なかなか仲良くできません。
そんなしゅんくんを
お母さんはいつも心配していました。
でも大好きなことに
夢中になっている時のしゅんくんは
キラキラ輝き、
お母さんも笑顔になれます。

しゅんくんが最初に夢中になったのは地図。
都道府県の名前や場所、
県庁所在地はもちろん、
世界中の国もすらすら言えて、
周りの大人をびっくりさせました。
お兄ちゃんの地球儀もお気に入り。
小学生の時には木の板で
手作りのカラフルな
鳥取県地図も完成させました。
しゅんくんの大好きなものはお母さんも
大好きになりました。

しゅんくんは乗り物も好きで、
中でも鉄道が大好き。
乗るのも見るのも大好き。
列車の時刻表は
遠くで走っているものも集めています。
時刻表を見ると
いろんなところに行った気持ちになれて、
ときどき、お母さんにも
どこに行ったのか教えてあげます。

少し大きくなったしゅんくんは、
自分の気持ちが周りにうまく伝わらず、
イライラすることが増えました。
なぜこんな気持ちになるのか、
しゅんくんにも分かりません。
どうしたらいいか分からず、
お母さんはとても心配に。
そんな時、
しゅんくんはドラムと出会い、
見本のビデオを見たりして
たたき方を覚えました。
夢中でドラムを叩いていると、
イライラも少なくなり、
自然と気持ちも楽になりました。
笑顔が戻ったしゅんくんにお母さんも
ひと安心。

ドラムと出会ったことで、
音楽が大好きになりました。
ジャズライブを見に行ったのをきっかけに、
地元のジャズグループにも入ったしゅんくん。
コンサートの企画や運営も手伝うようになり、
年が違うお友達もできました。
少しずつですが、
活動範囲が広がっていくしゅんくんに
お母さんはうれしくなりました。

大きくなり、一生懸命勉強し
車の免許をとったしゅんくん。
車の運転をするようになってから
しゅんくんの世界はもっと広がりました。
カーナビがなくてもへっちゃら。
地図が好きなので、
道路を覚えるのは得意です。

そんなしゅんくんは、
ガイナーレ鳥取のサポーター。
グッズをそろえ、
ガイナーレカラーの緑一色で
応援に行きます。
今ではほかのサポーターの人とも仲良し。
スタジアムの中でたくさんの人と
気持ちを一つにして応援するのは
とても楽しいです。
しゅんくんの影響で今では
お母さんも大ファンに。
時々、お母さんも応援に
連れて行ってあげます。

いろんなことに興味があったしゅんくんを
お母さんはいつも応援してくれ、
一緒に楽しんでくれます。
しゅんくんは優しく見守ってくれる
お母さんが大好き。
普段、お母さんに言えない
感謝の気持ちを伝えようと、
母の日の川柳コンクールに応募しました。
「背中押す　母の一声　救いの手」
昨年に続いて優秀賞。
受賞のとき、
お母さんの嬉しそうな顔をみて、
しゅんくんも幸せな気持ちに。

お母さんの宝物が、また一つ増えました。

## 「自閉症・発達障がい」について

障がいの困難さも目立つが、優れた能力が発揮されている場合もあり、周りから見てアンバランスな様子が理解されにくい障がいです。養育環境ではなく脳の機能障がいによるもので、どんな能力に障がいがあるか、またどの程度なのかは人によってさまざまです。

### ★こんな配慮がうれしい！

◇障がいのため困難なことを「なぜできないのか」と見るのではなく、どうすると良いかを具体的に示す

◇「知らないこと」「初めてのこと」など変化への対応が苦手なので、絵や写真を使ってあらかじめ本人が納得するように見通しを示す

## あとがき

「発達障がいは一見して分かる障がいではないので、さまざまな誤解を持たれてしまうことがあるんです」。発達障がいを持つ子どもさんのお母さんが一様に口にした言葉だ。出会ったどのお母さんも笑顔でこれまでを振り返り、時には冗談を言いながら話してくれた方もいた。でもその内容は悩み、苦しみ、辛かったこともある。発達障がいと向き合い、前向きに生活を送っているからこそ笑顔でいられるんだと思う。以前に比べ、発達障がいという言葉は浸透しているが、まだ理解していない人も多い。良き理解者が増えることが何より支えになることを痛感した。（石）